

令和2年12月

これから小学生になるお子様の保護者の皆様へ

説明会へのご参加・ご協力のお礼

令和2年10月11日、10月31日及び11月28日に実施しました説明会・個別相談に、延べ約1,900人の方に参加いただきました。貴重な土曜日、日曜日であることに加え、コロナ禍の中、第1回は前日まで台風による影響が心配された中での開催でしたが、会場までお越しいただき、新型コロナウイルス感染症予防対策へのご協力もいただき、ありがとうございました。

また、11月1日には、東京都教育委員会主催のオンラインによる合同説明会にて、動画による説明とビデオチャットサービスによる個別相談を行いました。こちらも、ご参加ありがとうございました。スクールガイド、適性検査問題に関わる資料を12月1日にウェブサイトへアップしましたのでご確認ください。

11月1日の説明会で使用した動画は、都教育委員会のウェブサイトで一般公開されています。本校主催の説明会の約半分の30分版で、同一内容ではありませんが、教育理念や教育内容、入学者決定方法の核となる部分はほぼ同じです。以下のURLからご覧ください（同URLは、令和2年度内有効です）。

<https://www.toritsu-setsumei.metro.tokyo.lg.jp/school/0269.html>

11月1日の動画とは別に、今後、本校独自の説明動画を、ウェブサイトへアップします。ご都合等が付きずに参加できなかった方や、満席となってしまっただけで参加いただけなかった方は、是非、そちらをご覧ください。アップ後、ツイッターでお知らせします。本校独自の説明動画は45分版で、こちらも説明会と同一内容ではありませんが、核となる部分はほぼ同じです。オープニング映像（イメージ映像）もごございます。説明会に参加いただいた方も、よろしければご覧ください。

説明会開催へのこだわり

この4月から開設準備に取り組む中で、会場で直接、説明会を行うことは、私たちの大切な目標の一つでした。もちろん、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施しないという判断があることも念頭におき、オンラインで実施する準備も同時に進めました。

今回の内容について、オンラインでもよかったのではないかとおられた方がいらっしゃるかもしれません。校舎もなく、児童もいない中、オンラインではない方法で実施したのは、本校の初めての説明会では、先ず、直接お会いしてご挨拶をして、私たちの学校創りに対する考えや意気込みを直接お伝えしたいと考えたからです。直接お会いしてお話しすることで感じていただけること、伝えられることがあると考えています。

教育理念等やそれに基づくグランドデザインへのこだわり

説明会や動画で、私からは、本校の教育の土台となる理念や目指す児童・生徒像、教育方針と、その土台に基づく教育全体の構想であるグランドデザインについてご説明し、副校長からは、そのグランドデザインの中から特色ある教育活動3点についてお話ししました。

理念等やグランドデザインの説明に時間をかけたのは、次のような考えからです。

- ・より良い教育内容を実施するには、PDCA（Plan; 計画、Do; 実行、Check; 評価、Action; 改善）サイクルを機能させることが必要である。
- ・PDCA サイクルを機能させるためには、なぜその教育活動を行うのか、その教育活動を行うことでどのような力を育成するのかという根拠や目標が必要となる。
- ・その根拠や目標を明確にするためには、理念等とグランドデザインが必要である。
- ・PDCA サイクルを機能させるのは、組織的に行うことでより大きな効果が得られる。
- ・組織的に取り組むためには、理念等やグランドデザインを、関わる人と共有する必要がある。

本校は12年間という長い期間をとおして教育活動を行う学校です。一貫した教育を、12年間を一つのスパンとして発展的に続けていくためには、理念等やグランドデザインを構築し、共有し、それに基づいて同じ目標に向かって協働すること、それを継続することが特に重要です。

今後は、グランドデザインに基づき、より具体的に教育内容を検討し、決定したことを随時、ウェブサイトや来年度の説明会で発信していきます。来年度の説明会日程は、会場が全て決定したところでお知らせします。

新設校のメリット・デメリット

本校は新設校です。そのことに対するご心配やご不安がある方がいらっしゃると思います。

例えば、小学1年生から募集していきますので、小学校段階が完成するまで6年かかります。特に令和4年度に入学する1期生は、小学2年生から6年生までの児童は校内にいません。このことを、メリットと捉えるか、デメリットと捉えるかは、見方、考え方、価値をどこに置くかによって変わると考えます。

私は、本校のように校舎・校庭を含め新しく創る都立高校の開設準備に携わり、開校後は、1期生を担任したことがあります。学校行事も、生徒会も、部活動も、全てが初めてという中、生徒たちは自分たちで考え、教職員と共に学校を創っていきました。時に失敗し、協力して乗り越え、伝統の第一歩を創っていく経験を積み重ね、団結力を深めていきました。卒業後の彼らを見ると、1期生としての誇りを持ち、変わらぬ友情を育み、パイオニアとしての経験を活用していると感じます。

彼らは高校生でしたが、小学生であっても、学校を創るという価値は変わりません。もちろん、関わり方には発達段階の違いがあります。自立への第一歩として、完成された学校ではできない、発達段階に応じたパイオニアとしての経験を、本校の児童にも積んでほしいと考えています。

一方で、小学校段階は、他の校種と比較して、より成長が著しい時期です。同じ学校の下の学年や上の学年を見て、共に学んで得ることが多くあると考えます。そしてそれは、特別な機会をとおしただけでなく、日常のふれあいからも得るものだと思います。そのような日常的なふれあいは、新設校である本校では、残念ながらしばらくは難しいことです。

1期生であること、下の学年や上の学年がないということをどのように捉えるかは、ご家庭のお考えがあると思います。予めお子様と十分ご検討ください。

また、施設については、一定期間ご不便をおかけすることになります。仮設校舎は、立川国際中等教育学校の敷地内に建つ予定です。中等教育学校の先輩に会う機会は、本校舎完成後より多いかもしれませんが、施設が完成するまでの間は、不便なことがあると思います。仮設校舎での生活は、入学後およそ1学期間（夏頃まで）であり、校庭の完成は、更にその1年後（令和5年夏頃）の予定です。工事は、安全性等の観点から工期を早めることは難しいことです。体育や外遊びの場所について検討中ですが、完成した学校に比べると、十分ではないことがあります。

以上の2点は、心配に思われる保護者の方が多い内容と考えます。本校は、1学年から募集し年次進行で完成していく学校であり、施設は、お子様が入学後に順次完成していきます。このことは変わらないため、この点をご理解の上、ご家庭で十分な検討をお願いします。その上で、新しいことに取り組むことを楽しく感じ、本校に魅力を感じていただけましたら、是非、入学をご検討ください。本校も、入学したいと思える学校創りに努めてまいります。

ここまでお読みいただきありがとうございました。

令和2年12月
市村裕子